

郷音

いびき

東京福祉会だより 第96号

通刊119号
令和5年1月発行

“響”とは「郷」の「音」と書きます。
私ども東京福祉会では、この温かなものを大切に
「心に響く葬儀」を目指しております。

今号のエッセイ



【じゅうにんという】

笑う今

作家・エッセイスト

阿川佐和子 さん



新年のご挨拶／会友Bプランのご案内
令和4年行事のご報告 秋季彼岸会
物故者永代慰霊法要 敬老の集い／
東京福祉会 行事のお知らせ



新春の東京駅

おかげさまで創立100周年～さらに前へ

 社会福祉法人 東京福祉会

東京福祉会だより(響)は、個人・団体会友や当会をご利用いただいた皆様をはじめ、都内の各福祉事務所・施設などにお届けしております。

東京福祉会 行事のお知らせ

人形・ぬいぐるみ供養のご案内

皆様のお家にお役目を果たしたお人形やぬいぐるみはありますか？東京福祉会では毎年、僧侶による読経と皆様のお焼香によって人形・ぬいぐるみをご供養させていただいております。

■お預かり場所：

道灌山会館 東京都文京区千駄木3-52-1
江古田斎場 東京都練馬区小竹町1-61-1
ホール多摩国立 東京都国立市谷保892-1

■お預かり期間：令和5年3月1日(水)～
3月7日(火)10:00～15:00

■お預かり費用：無料

■法要開催日：令和5年3月10日(金)
11:00～12:00 江古田斎場

受付方法

お預かり期間内に、各直営斎場にお人形と宛名裏面の申込用紙をご記入の上、ご持参ください。



※申し訳ございませんが、郵送によるお預かりはいたしかねます。
お預かりできるサイズや種類等、詳しくは申込用紙に記載しております。
ご不明な点は渉外部までお問い合わせ下さい。

※行事に関しましては、新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの感染状況により、やむを得ず変更・中止にさせていただく場合がございます。ご了承ください。

春季彼岸会のご案内

当法人納骨堂 聖恩山霊園 第二聖恩山霊園 春季彼岸会の合同法要を令和5年3月20日・21日・22日の3日間、江古田斎場にて執り行います。

詳しくは、2月頃、別途ご案内を送付させていただきます。

聖恩山霊園にて御遺骨長期保管をご利用いただいている皆様へ

令和5年2月より、御遺骨保管料の請求及び支払い方法が変更となります。

現在郵便局からお払込みいただいている御遺骨保管料ですが、ご利用者様の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアでのお支払いに変更させていただきます。払込受領証をもって領収証の代わりとさせていただきます。

また、請求書についてですが収納代行業者の「みずほファクター株式会社」からのご請求となりますので併せてよろしくお願い申し上げます。

なお、ご質問、ご不明な点等ございましたら聖恩山霊園納骨堂管理事務所までお問合せ下さい。

電話 03-3530-8091(受付時間 8:30～17:00)

資料請求

ご葬儀に関する詳しい資料(料金、式場等)をご用意しています。
下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



- ①会友制度Bプランお申し込み書一式
- ②葬祭料金のご案内
- ③ご火葬のみプランのご案内
- ④道灌山会館のご案内
- ⑤江古田斎場のご案内
- ⑥ホール多摩国立のご案内
- ⑦聖恩山霊園のご案内
- ⑧葬儀のあとの手続き・届け出事典

お問合せ・お申し込み 東京福祉会 渉外部

電話 | 0120-00-5677 ※9:00～17:00(土日を除く)
E-mail | info@fukushikai.com
URL | http://www.fukushikai.com

東京福祉会 検索



※お急ぎの方はお手数ですが ☎0120-62-1192 まで 響では読者の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

東京福祉会だより「響」
第96号(通刊119号) 令和5年1月発行
発行所 社会福祉法人 東京福祉会
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-52-1
電話 03(3823)8026



東京福祉会の**会員制度**

会友Bプランを ご存じですか？

東京福祉会の会友制度は、助葬事業を支え、そして団体の更なる発展のために、昭和55年に発足しました。

この制度は『東京福祉会を利用することで、間接的に助葬事業の運営向上の手助けをしていただく。その代わりに東京福祉会は、低廉にして誠心誠意、良心的な葬儀を行い、加入者の精神的・経済的不安が軽くなるよう努める』という、**相互扶助の精神**に基づいて誕生したものです。

葬儀社の会員制度という、年会費や積立金がかかるというイメージがありませんか？

東京福祉会の会友制度は加入金 1万円をいただくのみで、年会費や積立金は一切いただきません。「なぜ加入金だけで割引などがあるのですか？」という質問を時折お受けしますが、その答えはこの相互扶助の精神にあります。では、この会友Bプランに加入をするとどんなメリットがあり、受けられるのかご説明いたします。

「会友Bプラン」の メリット

- **加入金1万円 年会費・積立金なし**
- **三親等以内の親族なら全員適用、何度でも使える**
※名義人から見て葬儀施行者（喪主）がおじ様やおば様、甥姪まで利用可能
- **三親等以内の親族へ追加料金不要で名義変更が可能**
- **創立から100年以上の信頼と実績、社会福祉法人であることの安心感**
- **皆様をサポートする様々な特典等があります。**

皆様をサポートする 特典

特典①	基本葬祭料金 30%割引 ※仏式祭壇・花祭壇・神式祭壇・キリスト祭壇に適用されます。 ※ご火葬のみプランには別途の割引をご用意しております。
特典②	ご遺族・ご親族の生花 10%割引
特典③	生花 1基 サービス ※16,500円の生花（生花・枕花・後飾り生花）を1基サービスいたします。
特典④	直営斎場利用料 50%割引
特典⑤	貸式場利用料 10%補填
特典⑥	オプション品 10,000円 分割引 (対象品：湯かん・門灯前花飾り・受付テント・エンパーミングのいずれか一つです)
特典⑦	全国百貨店共通商品券 10,000円 進呈
特典⑧	オリジナルエンディングノートの進呈
特典⑨	税務相談・遺品整理優待利用
特典⑩	くらしの学習講座 ※⑩は現在、新型コロナウイルス感染拡大のため休止しております。

◎これらすべての特典を受けるには生前のご加入が必要となります。

◎④と⑤はいずれか一方の適用になります。

特典豊富な東京福祉会の「会友Bプラン」へご入会しませんか？

「会友Aプラン」に ご加入されている方

会友Aプランにご加入されている方は、ご加入金**9000円**で会友Bプランに切り替えが可能になります。

Aプランの主な特典としては

- 特典① 基本葬祭料金 20%割引
- 特典② ご遺族・ご親族の生花 10%割引

となりますので、会友Bプランと比べて特典に大きな差があります。

是非この機会に切り替えをご検討されてはいかがでしょうか。
お電話またはホームページからご連絡いただければ、お手続き書類を送付いたします。

お申込みはこちらから
(平日 9:00 ~ 17:00)

渉外部 会友事務局

TEL:0120-00-5677 FAX:03-3823-1351

<https://www.fukushikai.com>

HP 内お問合せ・資料請求フォームからお申込みいただけます。



社会福祉法人 東京福祉会
理事長 原山 陽一

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

おかげさまで当会も創立から104年目の春を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援、ご指導の賜物と心より厚く御礼申し上げます。

さて、2020年1月に我が国で新型コロナウイルス感染症が確認されてから既に3年が経とうとしております。この間、ウイルスは変異しながら感染拡大を繰り返してきました。こうした中、当会主催行事である「春季彼岸会」「盂蘭盆会」「秋季彼岸会」「物故者永代慰霊法要」については皆様方のご参列を制限させていただいておりましたが、昨年は感染の状況を踏まえ、換気や消毒等万全の感染対策のもと皆様方にご参列を頂

き無事に終えることができました。

また、特養部門「練馬高松園」「第2練馬高松園」「第3練馬高松園」におきましても、面会日やお時間、人数等の制限をさせていただきながら、ご面会の再開をしております。この様に少しずつではありますが、新型コロナウイルス感染症発生以前の状態に、戻りつつあることは大変喜ばしいことと感じております。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく葬儀の小規模化や簡素化を一層進めました。当会ではご家族・ご親族だけでなく故人様と親しかったご友人等、故人様と縁や絆で結ばれた皆様が集ったご葬儀「近親葬」を推奨、ご紹介しておりますが、ここ数年ではその「近親葬」も行えず、やむなく直葬といった形でお見送りされる方が増えて参りました。

そして、ご火葬を行った後日、改めて弔い直しをする方も同時に増えているため、当会では「後日葬」と名付け、故人様とご縁のある皆様がお心置きなくお別れしていただける場をこ

提供できるよう努めております。今後もどんな形であれ、当会では「その人らしさ」を大切にしたいと温まるご葬儀の実現に取り組んでまいります。

今年の干支は癸卯（みずのと・う）です。

兎には「跳ねる」特徴があるため、「景気が上向きに跳ねる、回復する」と言われており、「縁起の良い年」として知られております。また、癸と卯の2つの組み合わせには、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった意味を表しております。私共もこの年にあやかり、日々努力を続けながらさらに前へ跳躍できる年となるよう、職員一丸となって業務に邁進してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとって実り多き年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

令和5年 元旦

阿川佐和子

笑う今

作家・エッセイスト



撮影：榎木 功

「怒り」を傍観する効果

先日、たまたま会った女性から「アガワさんはいつも楽しそうに見えますね」と言われた。そんなことはない。イライラしたり落ち込んだり、その憤懣を周囲に埋不込にぶつけたりすることが多く、実にもって人間ができていないと反省する日々である。

人が憤慨している姿を火花の屈かめ場所から見学していると、なかなか滑稽なものだと気づく。「ビートたけしのTVタックル」というテレビ番組で長年司会を務めているが、ゲスト同士が意見を交わし合ううちにだんだん興奮し始めて、目が三角になっていき、本気で怒り出したとわかる瞬間がある。対する相手の視線も鋭い。これは喧嘩になるぞ。そう感じた司会者は、スタジオ内の不穏な空気を収めようと努力するべきかもしれない。でも私はしない。むしろ、「どんどんやってちょうだいね」とその場を盛り立てる。そのほうが番組は面白くなる。真剣に怒っている人には失礼ながら、きつとテ

遅しき母

両親の介護をしているときにも実感した。父は九十四歳、母は九十二歳で先年他界したが、しだいに弱っていく父と認知症になって

記憶を失っていく母の世話をしながら何度も大笑いしたものだ。父を高齢者病院に入院させ、母を連れて見舞いに行っていた折のこと。病院食に少し飽きたのか、父が母に向かって語りかけた。「おい、お前のつくるちらし寿司が食いたいよ」母は耳が遠かった。「え？」聞き返す。父は前より少し大きな声で、「お前のちらし寿司が食いたいんだよ」まだ母は聞こえない。「なんですって？」すると父が苛立った様子で、「お前のちらし寿司が食いたいうって言ってるんだ。聞こえないのか!」

とうとう怒鳴り声を発した。そばにいた私は身を固めた。これまで父の癪癢に母は何度泣かされてきたことか。また始まったかと情けない気持ちになりかけたとき、母が、「ああ、ちらし寿司ですか？ 東急に売ってますよ。」ケロリと言いつ返ししたのである。私は思わず吹き出した。長年の父の圧政に対し、なんと母の遅しき

なったことか。父も母の反撃に完敗したらしく、渋い顔をして黙り込んだ。母はもの忘れが進んでなおさら面白くなったかに見えた。もちろん母が記憶のコントロール機能を失い始めた当初はショックを受けた。今までの母はもう望めないのか。この病気を治すことはできないのか。母自身、自分の記憶力が

低下し始めた頃は不安だったらしい。その頃、母が残したメモをのちのち発見してそのことを知った。「バカバカバカ。どんどん忘れる」どうしても見つからない。私は「バカ」それまでの忘れ方は違う自分に気がついて、恐怖にさいなまれていた時期があったようだ。しかし、その苦悩の時期を過ぎてから、母は徹底して明るい認知症になった。

大切なのは「今」

私が人差し指を自分の鼻の上に当て、母に近づいて、「これは、誰でしょう」テストをすると、

「ん?」ちよつと考えてから、「お鼻ちゃん」名前が出てこないことを隠し、上手にごまかすのである。会ったびそのテストをしているうち、あるとき私は母の姉になり、あるときは母の母親になる。そのうち、「これは誰ですか?」「いつもどのように訊ねると、私のおばあさん」とうとうう私は母のおばあさんに昇格してしまった。それはいくらなんでもひどい。「おばあさんじゃないでしょう?」反論すると、「だって、シワシワなんだもの」これまたケロリと言いつ返す。ある日、何度言ってもすぐに忘れてしまう母にくたびれて、話し

記憶力を失っていく自分を嘆くことも苛立つこともなく(初期の頃は多少あったが)、母はその都度の「今」を優雅に生きていた。その姿を見て私は決めた。昔の母を求めめるのはやめて、これからの母に杞憂せず、「今の母」とうとうう笑っていられる時間を大切にしたい。過去も未来もどうでもよるしい。今、笑っている母と会えることがどんなに幸せか。あらゆる神様に感謝したい気持ちになった。

トンチを効かせて周囲を笑わせてくれる「今の母」と、幼い頃、ずっと見守ってくれた「昔の母」は、まったく様相が違っていた。間違いなくどちらも私の母だった。



【エゴイスト】14歳で母を失い、ゲイである自分を隠して鬱屈と過ごしてきた浩輔は、シングルマザーの母を支えながら暮らすパーソナルトレーナーの龍太に出会う。惹かれあう彼らの前に、突然残酷な運命が押し寄せる。出演：鈴木亮平、宮沢氷魚、阿川佐和子 監督：松永大司 ©2023 高山真・小学館/「エゴイスト」製作委員会 2月10日(金)より全国公開

阿川 佐和子 (あがわ・さわこ) 東京出身。慶應義塾大学文学部卒業。TBS「情報デスクToday」「筑紫哲也NEWS23」「報道特集」でキャスターを務める。以後、執筆を中心にインタビュー、テレビ等幅広く活動。1999年『ああ言えばこう食う』(檀ふみ氏との共著)で第十五回講談社エッセイ賞、2000年『ウメ子』で第十五回坪田譲治文学賞、2008年『婚約のあとで』で第十五回島清恋愛文学賞を受賞。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」にレギュラー出演中。近著に『ブータン、世界でいちばん幸せな女の子』(文藝春秋)。2014年第六十二回菊池寛賞を受賞。

